

関係各位

(一社) 沖縄県歯科医師会
会長 米須 敦子
(公印省略)

令和4年度歯科医療従事者技術向上支援研修会のご案内

平素より本会会務運営に対しご理解、ご協力を賜りお礼申し上げます。

さて、昨年引き続き地域医療介護総合確保基金を活用して、標記研修会を開催することとなりました。

今回は、大阪大学大学院歯学研究科 予防歯科学 教授 天野 敦雄先生に『う蝕と歯周病の最新情報：豹変するバイオフィルム』を演題にご講演いただきます。

つきましては、下記のQRコードまたはURLより、来る2月6日までにお申し込みくださいますようお願いいたします。多くの歯科医療関係者のご参加を賜りますようご案内申し上げます。

日 時：令和5年2月11日（土：祝）午前10時～午後1時

場 所：オンライン（沖縄県口腔保健医療センター 大研修室）

演 題：『う蝕と歯周病の最新情報：豹変するバイオフィルム』

講 師：大阪大学大学院歯学研究科 予防歯科学 教授 天野 敦雄先生

対 象 者：会員診療所スタッフ（非会員歯科医師除く）・沖縄県歯科衛生士会会員

講演内容：裏面

申 込：下記のQRコードまたはURLより、来る2月6日（月）までにお申し込みください。後日、申込者へwebex招待メールを送信いたします。

※webex 接続時の表示名は、必ず申込者名で表示するようお願い申し上げます。

<https://forms.gle/MuyFQ5RHewdyU1BAA>



沖縄県歯科医師会事務局 與那嶺
〒901-1105 南風原町字新川 218-1
tel 098-996-3561 fax 098-996-3562

『う蝕と歯周病の最新情報:豹変するバイオフィルム』

大阪大学大学院歯学研究科 予防歯科学

教授 天野 敦雄

バイオフィルムの病原性は十人十色。バイオフィルムが高病原化する時、う蝕と歯周病が発症する。なぜバイオフィルムは豹変するのか。最新病因論がう蝕と歯周病の予防・治療に新展開をもたらす。

- ① う蝕と歯周病の最新病因論:Key word は dysbiosis
- ② う蝕/歯周病の予防・治療の最新情報:フッ化物応用と潰瘍面閉鎖
- ③ バイオフィルムの病原性の見分け方:細菌検査ができなくても大丈夫
- ④ 結果を出す SRP:患者に合点をいかす知識と技術
- ⑤ 子どもの歯周病:お口ポカンは深刻な問題

【講師略歴】

1984年 大阪大学歯学部 卒業

1992年 ニューヨーク州立大学歯学部 博士研究員

1997年 大阪大学歯学部附属病院 障害者歯科治療部 講師

2000年 大阪大学大学院歯学研究科 教授

2015年 大阪大学大学院歯学研究科長・歯学部長(2019年3月迄)

2021年 日本口腔衛生学会 理事長

【主な著書等】

- 天野敦雄 (2021):長生きしたい人は歯周病を治しなさい(文春新書)
- 天野敦雄 (2020):歯科衛生士のための 21世紀のペリオドントロジ-ダイジェスト・増補改訂版(クインテッセンス出版)
- 天野敦雄 (2019):天野ドクターの歯周病絵本 バイオフィルム公国物語(クインテッセンス出版)
- 天野敦雄 (2012):ビジュアル 歯周病を科学する(クインテッセンス出版)